

高等学校第1学年 国語科学習指導案

日時 令和4年9月20日(火) 第1校時
 対象 第1学年A組 40名
 学校名 附属世田谷高等学校
 授業者 塚越 美友
 指導教諭 森安 惟澄 教諭

1. 単元名 様々な観点から情報を収集・整理して、記事を作成しよう。
 教材名 「ポスト真実時代のジャーナリズム」(筑摩書房 現代の国語)

2. 本時の展開 (4/4時間目)

(1) 本時のねらい

異質なものをに入れて、様々な観点から情報を収集・整理して、記事を作成しよう。

(2) 本時の展開

| 時間 | ○学習活動 S:予想される生徒の反応 T:教師の発言 | ◇指導上の留意点 ◆評価 |
|--|---|---|
| 導入 2分 | ○本時は記事作成を行うことを知り、見通しを持つ。 T:今日は記事作成に入ります。この活動を通して、皆さんに、筆者が伝えたかった異質なものに触れる大切さを実感してほしいと思っています。最初に確認しますが、異質なものは、自分の感情に沿わない情報や共感できないことでしたね。 | ◇記事を作成することを確認する。 |
| 異質なものをに入れて、様々な観点から情報を収集・整理して、記事を作成しよう。 | | |
| 展開① 5分 | ○記事作成の流れを理解する。 T:前回は説明しましたが、記事作成の流れを簡単におさらいします。①異質な記事例を読み、自分にとって異質な記事を探す。先生は日韓関係が改善に向かっている記事を選びました。これまでの歴史から日韓関係は悪くなっていると思っていたので、異質だと感じたからです。しかし、その記事を読んで、実は日韓関係は良くなってきているのだと共感しました。このように、自分の考えとは異なる記事を選んでください。その記事を読んで、共感しても共感しなくても、どちらでも構いません。ネット記事から選んでも良いです。「朝日新聞デジタル」のように「新聞社の名前デジタル」と検索すると、一部の記事は読むことができます。記事の見本例と異質な記事例は授業タブに上がっています。 | ◇記事作成の流れをモニターに映す。 ◇自分が作った記事を使いながら流れを説明する。 ◇異質な記事とはどのようなものを指すのか具体的に示す。 ◇ネット記事の調べ方を指導する。 |
| 展開② 40分 | ○記事作成を行う。 ① 異質な記事例を読み、自分にとって異質な話題を探す。(ネット記事から選んでも良い。) ②簡単に記事をまとめる。 ③異質だと思ったところとその理由を書く。 ④参考資料を書く。 ⑤他に見つけた異質な記事タイトルとその内容を簡単にまとめる。 | ◇残り時間が半分になっても書き始めていなければ声をかける。 ◆異質なものをに入れて、様々な観点から情報を収集・整理して、記事を作成して、発表することができる。(観察・記事) |
| まとめ 3分 | ○他の人の記事も読んで、他の人は何に対して異質だと感じるのかを知る。 | |

ポスト真実時代のジャーナリズム
国谷裕子

異質なものをに入れて、様々な観点から情報を収集・整理して、記事を作成しよう。

異質なもの || 自分の感情に沿わない情報や共感できないこと

◎ 記事作成の流れ

① 異質な記事例を読み、自分にとって異質な話題を探す。(ネット記事から選んでも良い。)

② 簡単に記事をまとめる。

③ 異質だと思ったところとその理由を書く。

④ 参考資料を書く。

(例) 毎日新聞「韓国国防次官「日本の協力の拡大の準備はできた」関係改善に意欲」(2022年9月1日)

⑤ 他に見つけた異質な記事タイトルとその内容を簡単にまとめる。

(例) 「韓国国防次官「日本との協力拡大の準備はできた」関係改善に意欲」日韓関係は改善し始めている。